

タイトル；日本の働き方について

名前：サナド・マサナツト

日本の働き方は世界ですごく有名な問題だと思います。日本の働き方と聞かれたとき、悪いことが思い浮かびます。例えば、残業とか自殺とか働きすぎのような言葉をよく聞きます。サラリーマンが一番人気の日本の仕事だから、日本には色々なサラリーマン川柳があります。

サラリーマン川柳の例は「働き方 改革したら 暇になる」や「ロボットに 肩叩かれる 夢を見た」などがあります。私が一番印象に残った川柳は一つ目の例です。子の川柳を聞いて、最初の印象に残ったは日本の働き方は暗いと思ったことです。昔はサラリーマンは働きすぎるから、リラックスできないし、残業は普通だし、ときどき、会社はブラックだから、普通なサラリーマンはいつでも忙しかったと考えます。しかし、今は働き方改革のために、少し変わってきています。今は働かなすぎるという問題があります。私にとって、長所と短所があります。長所は、昔にサラリーマンは残業をしていましたけど、今は時間があるから、友達と同僚とリラックスすることができることです。しかし、短所は家に帰れないから、家族と過ごす時間がないです。そして、たくさん人のサラリーマンは残業代で生計を立てる人が多かったです。でも、働き方改革のために残業ができなくなりました。つまり元の生活ができません。

その問題を解決するために、現実的な提案があります。それは、働き方を選べるようにすることです。例えば、家族がいる人は早く帰れるや残業がしたい人は残業を許可することです。早く帰る人の分を他の残業したい人が補うようにすることです。

日本の働き方かたは暗い話だけど、最近、それは変わっています。過労死の数は減っているし、残業も減っているし、休日が増えるから、皆はリラックスすることができると思います。しかし、お金がもらえないこともあります。